

令和 3年度予算見積調書

課室名：大気環境課

担当名：規制担当

内線：3061

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B24	建築物の解体等現場に係る石綿対策事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	大気環境石綿対策費		
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	大気汚染防止法				宣言項目		SDGsゴール	3, 12, 13
	令和 7年度			分野施策	051143 公害のない安全な地域環境の確保	SDGsターゲット	3-9, 12-4, 13-3			
1 事業概要				5 事業説明						
<p>石綿の飛散流出を防止し、県民の健康を保護することが重要であるが、石綿は適正に管理・廃棄されてきたとせず飛散流出による健康被害が社会問題となっている。</p> <p>そこで、県民の安心・安全のため、建築物解体等現場における指導を強化し、石綿飛散流出の未然防止を図る。</p> <p>また、法改正により建築物解体等現場において石綿使用の有無を見抜く眼力が県職員にも求められるようになったため、職員の能力向上を図る。</p> <p>(1) 県環境管理事務所への専門家派遣 1,285千円 (2) マニュアル改定検討会 42千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県環境管理事務所への専門家派遣 建築物解体等現場における指導困難事案について、県環境管理事務所へ石綿の専門家を派遣し、現地指導において専門家の技術支援を受ける（石綿含有建材の専門家：10日/年） 1,285千円</p> <p>イ マニュアル改定検討会 42千円 (7) 専門家の高度な知見を反映したマニュアル等の整備、改訂を行う。 (4) 建築物解体等現場の指導事例等について環境管理事務所職員等へ水平展開する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 石綿に係る業界団体との委託契約を締結 イ 建築物解体等現場における指導困難事案について、石綿専門家の知見を活用 ウ 本事業における現場指導から得られた知見の水平展開及びマニュアル等への反映</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 専門家の有する高度な知見を建築物解体等現場における指導困難事案において活用し、石綿飛散流出事故を未然に防止 イ マニュアルの高度化等による県職員の現場指導力向上</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
<p>普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費（細目）環境保全対策費（細節）環境保全対策費（積算内容）環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等</p>										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
<p>本庁 9,500千円×0.2人＝1,900千円 地域 9,500千円×2.0人＝19,000千円</p>										
				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
予算額										
決定額	1,327							1,327	1,327	
前年額	0							0		